

科名 婦人科

対象疾患名 子宮頸がん

プロトコール名 キイトルーダ+BEV(3週毎)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg/body	30分かけて	↓						
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ							
3	点滴注	側管	アバスチン	15mg/kg	医師の指示通り	↓						
			生食	100mL								

★1クール=21日

~MEMO~

他の抗がん剤との併用時を含め2年まで

催吐レベル1(10%未満)

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<アバスチン>

初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で

行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

投与期間中は投与回数が増えるほど高血圧の出現頻度が高くなるため定期的に血圧を測定すること。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。